

■ テーマ

「スクラップ&ビルド」が繰り返され、土地固有の歴史ある建築が消滅していつてしまう昨今、鳥取県阿毘緑地域日南町における近代の由緒ある鉄山師住宅が寄贈により保存されるということは、実に素晴らしいことと思います。

建物は使用しないと老朽化が進んでしまいます。まずは、実際に使用しながら問題点を洗い出し、修復の優先順位を設定し、計画的に解決していくことが寛容かと思えます。また、同時に取得した文化財をできるだけ早い時期に町民に公開し、事業そのものの理解を得ることも重要と考えます。

『日南町芸術祭』(in 旧木下家住宅およびその周辺)の開催を提案いたします。世界中のアーティストに参加を呼びかけ、旧木下家住宅を「アーティストレジデンス」とし、ここに滞在し、寝食を共にしながら、敷地内およびその周辺でアート作品を制作し、この秋、『日南町芸術祭』を開催するというものです。



日南町 旧木下家



■ 芸術祭

- 日程 : 11月3日(水)祝日～11月28日(日)
- 場所 : 旧木下家住宅敷地およびその周辺(住宅裏の杉林・遊歩道等を含む)
- 入場料 : 無料
- 作品 : 「インスタレーション」を主体とする。原則として、設置後撤去し現状回復とする。作品は残らないが、人々の記憶に深く刻まれる。
- イベント : 郷土芸能・ライブパフォーマンス・ワークショップ・シンポジウム等をプログラムに組み入れる。
- 記録 : 会期終了後、カタログを作成し、記録として保管するほか関係者に配布する。



■ 運営

施設管理は行政、イベント運営は実行委員会というのが一般的かもしれませんが、できれば管理・運営とも「実行委員会方式」が望ましいと思えます。「実行委員会方式」とは、行政・市民団体・教育機関・企業等々が知恵や資金を出し合って運営する方式です。責任の所在がはっきりしないという指摘もありますが、行政単独では町民の理解が得にくいイベントの企画等を実現することも可能です。メンバーには、老若男女を問わず、町の職員や地域住民の他、町民以外の地域の大学生や高校生にも広く参加を呼びかけます。イベント実施にはボランティアの参加は不可欠です。



■ 資金

何をするにも資金の裏付けは重要です。町や教育委員会に十分な資金があれば問題はありませんが、そうでなければ、企業等からの広告宣伝費を集めるほか、「市民オーナー制度」といった個人の寄付を募る方法もあります。また、日本芸術文化振興会による「芸術文化振興基金」等の助成を受けることも一考です。



■ 日程

『日南町芸術祭』の実現に向け、参考までに仮のタイムテーブルを提示いたします。

- 5月10日(月) 実行委員会発足
- 5月31日(月) 参加作家募集開始
ボランティア募集開始
- 8月 1日(月) 参加作家決定
- 10月 9日(土) アーティストレジデンス開始
作品制作開始
- 10月29日(金) 作品完成
- 10月30日(土) **開幕**
オープニングセレモニー
郷土芸能・ライブパフォーマンス
- 11月 3日(水) アーティストレクチャー
アーツツアー
- 11月28日(日) **閉幕**
さよならパーティー
- 12月12日(日) 作品撤去完了
反省会后忘年会
- 12月24日(金) カタログ完成
関係者に送付



■ 効果

『日南町芸術祭』の効果として

- 日南町の人々の暮らしを豊かにする魅力を高めると共に、積極的に内外に発信し、**新規住民および関係人口の増加**につなげる。
- 「**インスタレーション**」等 新たな芸術の普及に寄与する。
- 日南町の歴史的文化遺産を次世代の若者に伝え、**未来に継承**していく。
- ボランティア活動**を普及させるため、人材発掘の出発点とする。
- 日南町を訪れる人々の増加に伴い、交通・宿泊や飲食といった部門の**消費拡大に貢献**できる。



■ その他

私の住む千葉県我孫子市では、地域の古くからの豪農「井上家住宅」を拠点として、1998年から2017年までの20年間、「我孫子国際野外美術展」を実行委員会主催で全20回毎年実施してきました。

そうした市民活動の成果として、老朽化著しい歴史ある「井上家住宅」は、現在、解体を免れ、我孫子市所有の市指定文化財として、施設整備工事を実施しながら、地域住民の活動拠点との場として、我々の市民活動に大いに寄与しております。

* 参考資料として、第20回 我孫子国際野外美術展のカタログ(表紙と裏表紙)のPDFを添付いたします。



我孫子市 井上家

